

はじめに



大船渡市長 戸田 公明

平成23年3月11日午後2時46分、三陸沖を震源とした国内観測史上最大規模となるマグニチュード9.0の大地震に伴って発生した東日本大震災津波により、当市におきましても、多くの尊い命と財産が失われ、まさに日常が一変する未曾有の被害を受けました。

至る所でガレキの山と化した街並みをはじめ、言い尽くせない惨状に嘆き、悲しみに打ちひしがれる中で、一日も早い生活再建とまちの再生に向け、平成23年10月、官民一体となって大船渡市復興計画を策定し、以来、今日に至るまで10年間、国をはじめ、県、自治体、企業、ボランティアなど、国内外からの多大なご支援、ご協力と、市民や関係各位のご尽力を賜りながら、約260に及ぶ各種事業の推進に全力を傾注してまいりました。

おかげをもちまして、当市の計画はほぼ目途が立つところまで進展しました。これもひとえに、これまでお寄せいただいた多岐にわたるお力添えの賜物であり、関係各位に改めて心から感謝申し上げます。

本誌は、今年度で市復興計画が終期を迎えるのを機に、津波の常襲地として、過去に何度も災害に見舞われてきた当市が、東日本大震災の被災から立ち上がり、市民一丸となって今日まで取り組んできた復興の歩みと、携わった多くの方々の生の声、さらには各種復興事業を通じて得られた成果や課題などを一冊にまとめたものであります。

近年、毎年のように全国各地で自然災害が発生する状況にある中、東日本大震災の被災地の一自治体として、震災後の当市のこれまでの取り組みを広く周知することは意義あることと考えますことから、より多くの方に目を通していただき、その中から一つでも多くのことを感じ、学び、防災対策や市民の防災意識の向上の一助として、少しでもお役に立てることができれば幸いです。

結びに、今後も被災された方々の心のケアに取り組みつつ、これまでの取り組みで得た成果をもとに、少子高齢化や人口減少など、さまざまな社会環境の変化に対応しながら、新たなまちづくりに邁進してまいりたいと存じますので、関係各位のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

令和3年3月